

4月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

19,850円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	9,330円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	10,520円
通信費(携帯電話代、折込代)	0円
支出計 17/4/1~17/4/30	19,850円
寄付 Yさん	3,000円

市政を考える 月刊武松

発行日
17/5/1

たけまつ ただし
頒布責任者：武松 忠(市議会議員)
武松政策研究会

第164号

15800部発行

小田原市斎場建設工事始まる!

既存火葬炉を使用しながら現地再建

1972年1月の供用開始から45年が経過し、施設の老朽化が著しい小田原市斎場の建設工事が始まりました。

施設は引き続き小田原市営火葬場として位置づけ、供用開始後は小田原市が1市5町(南足柄市、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町)から事務の委託を受けて運営する予定です。

■施設概要

- ・所在地 小田原市久野3664-8
 - ・構造 鉄骨造・地上2階建て
 - ・延床面積 約3,200㎡
 - ・火葬炉 9基(大型炉8基、超大型炉1基)
 - ・駐車台数 普通車67台、車椅子用2台、大型バス3台、マイクロバス2台
 - ・1階…エントランスホール、お別れ室、火葬炉室、事務室等
 - ・2階…待合室、待合ロビー等
- ※式場、動物用の火葬炉は設置しません

■運営・事業費

- ・PFI事業(設計・建設した施設を市へ移転後、民間事業者が15年運営)
- ・限度額 63億2976万円
(物価変動・増税等増減は、加算)

■スケジュール

- ・事前調査・設計・工事・運営準備
2016年6月~2019年3月
- ・供用開始 2019年4月~
- ・外構整備・現火葬棟解体
2019年1月~2019年12月

裏面に続く



▲図1 新斎場全景



▲図2 車寄せ(雨に濡れずに乗降)



▲図3 2階待合室へはエレベータと階段で

段差のない
スムーズな動線

■新斎場の特長

- ・利用者の心情に寄り添った安心・安全な施設
バリアフリー
15人乗りエレベータ2機を設置

・プライバシーを守る施設

- 2箇所の入退館口
- 5箇所の独立したお別れ室
- 規模に柔軟に対応できる待合室

・周辺環境に配慮した施設

- 建物の高さの抑制
- 適切な排ガス処理
- 騒音を抑えた火葬炉

・静かで落ち着いた空間を実現できる施設

- 利用者動線と管理者動線の分離
- 利用者空間と管理者空間の分離

・事業費を低減しつつ、よりよい公共サービスを提供できる施設

- PFI方式の導入(設計施工運営一括)

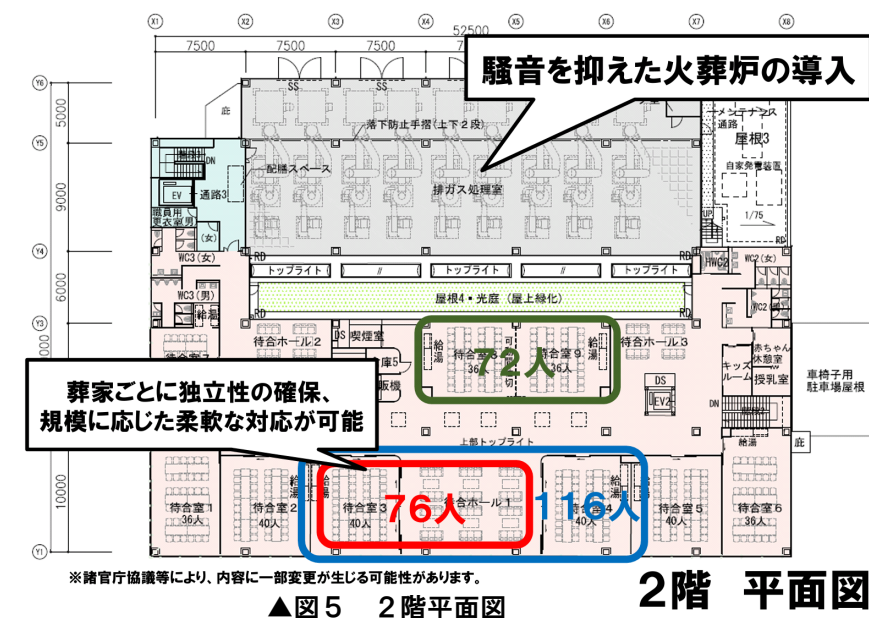
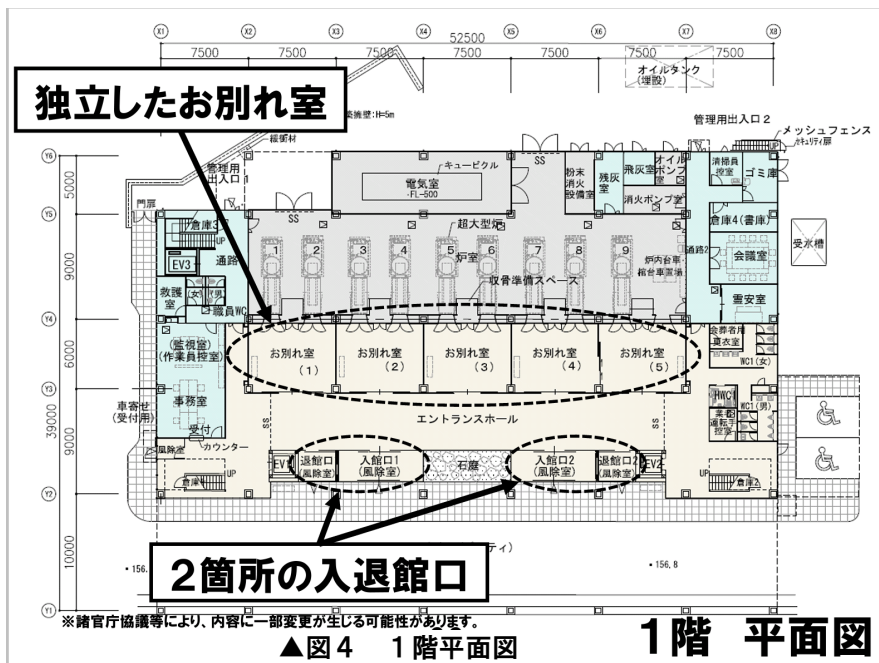
■利用料は今後の課題

現在の斎場使用料は、小田原市内居住者は無料。

南足柄市内居住者が、2万7千円、市外居住者が3万8千円でしたが、新斎場の建設費や運営費の償還を考慮すると、小田原市内居住者の有料化も含めた利用料の値上げが必要との説明を受けています。

平塚市では、市内居住者が無料で、市外居住者は9万5千円(12歳以上)となっており、これらも参考にしていきたいと思います。

工事中は臨時駐車場や仮設待合室で、ご迷惑をお掛け致します。



武松政策研究会からのお知らせ

5月の武松忠議会報告会について

日時 5/27(土) 18:00~
場所 おだわら市民交流センターUMECO 会議室8
テーマ 「任意協議会の協議状況について」
参加費 100円
終了後 懇親会を行います。

5/3北條五代祭りにて氏綱公役 →



HPIは、「たけまつただし」で検索！ 月刊武松バックナンバー全て掲載しています。

twitter : @ttakemat

facebook : <https://www.facebook.com/tadashi.takematsu>

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ
さがみ信用金庫 国府津支店 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで